



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 パーチャレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6193 URL <http://www.vx-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝 TEL 03-3578-5300
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,009	△7.9	61	—	69	—	51	—
2020年3月期第3四半期	4,350	△3.5	△281	—	△278	—	△535	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 50百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △535百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	18.06	18.04
2020年3月期第3四半期	△184.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,332	489	21.0
2020年3月期	2,336	439	18.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 489百万円 2020年3月期 439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	△7.5	110	—	120	—	70	—	30.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	2,943,453株	2020年3月期	2,943,153株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	64,500株	2020年3月期	64,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	2,878,720株	2020年3月期3Q	2,896,206株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、緊急事態宣言が発出され、多くの企業が事業活動を制限され、国内外の需要は大幅に悪化しました。5月の緊急事態宣言解除後、感染症拡大の防止策を講じつつ、政府による各種政策効果などにより一部で持ち直しの兆しがみられたものの、感染の再拡大により、一層不透明感が増す状況が続いております。

このような状況の下、当社グループはテクノロジーを基盤として、バーチャレクス・コンサルティング株式会社はCRMをビジネスのドメインに、株式会社タイムインターメディアはWeb、文教・教育、AIなどをビジネスのフィールドとして、当社グループの持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,009,178千円（前年同四半期比7.9%減少）、営業利益61,581千円（前年同四半期は営業損失281,817千円）、経常利益69,857千円（前年同四半期は経常損失278,400千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益51,978千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失535,742千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限され、売上は前年同期比で減少したものの、前連結累計期間に発生した株式会社タイムインターメディアの大型システム開発案件における品質トラブルは当四半期に引きずらなかつたこと及びコスト削減含めたプロジェクト利益率の改善により利益面では前年同期比で大幅に改善しました。その結果売上高は2,038,055千円（前年同四半期比10.3%減少）、セグメント利益は291,177千円（前年同四半期比389.3%増加）となりました。

アウトソーシング事業は、前期末で予定していた一部の案件が終了したことや新型コロナウイルス感染症の影響により一部の案件について縮小がありました。その結果、売上高は1,971,122千円（前年同四半期比5.2%減少）、セグメント利益は309,680千円（前年同四半期比3.1%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より3,811千円減少し、2,332,844千円となりました。これは主に、前連結会計年度末より現金及び預金が200,002千円増加したものの受取手形及び売掛金が235,300千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末より53,984千円減少し、1,843,095千円となりました。これは主に、長期、短期含む借入金が59,577千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益51,978千円を計上したこと等により、前連結会計年度末より50,173千円増加し純資産は489,748千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年1月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	208,740	408,743
受取手形及び売掛金	847,257	611,957
開発事業未収入金	153,018	100,810
仕掛品	16,785	45,617
前払費用	94,472	92,016
その他	56,951	55,963
流動資産合計	1,377,225	1,315,108
固定資産		
有形固定資産	104,511	91,922
無形固定資産		
ソフトウェア	101,180	99,253
ソフトウェア仮勘定	16,888	69,020
その他	3,820	3,820
無形固定資産合計	121,890	172,095
投資その他の資産		
投資有価証券	490,931	504,615
その他	242,096	249,102
投資その他の資産合計	733,028	753,718
固定資産合計	959,430	1,017,736
資産合計	2,336,655	2,332,844
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,174	91,655
短期借入金	550,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	125,182	117,960
未払金	185,524	208,647
未払費用	42,017	41,595
リース債務	1,807	1,807
未払法人税等	23,129	11,192
未払消費税等	105,517	107,261
未払事業所税	6,262	5,106
前受金	43,370	78,042
預り金	46,639	105,142
賞与引当金	146,745	112,459
受注損失引当金	24,227	—
その他	82	75
流動負債合計	1,430,682	1,080,948
固定負債		
長期借入金	443,225	740,870
その他	23,173	21,277
固定負債合計	466,398	762,147
負債合計	1,897,080	1,843,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,381	598,459
資本剰余金	301,935	302,013
利益剰余金	△413,341	△361,363
自己株式	△49,478	△49,478
株主資本合計	437,497	489,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,077	116
その他の包括利益累計額合計	2,077	116
純資産合計	439,575	489,748
負債純資産合計	2,336,655	2,332,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,350,796	4,009,178
売上原価	3,540,392	3,156,394
売上総利益	810,403	852,783
販売費及び一般管理費	1,092,221	791,202
営業利益又は営業損失(△)	△281,817	61,581
営業外収益		
受取利息及び配当金	224	110
助成金収入	5,665	5,385
投資事業組合運用益	5,040	4,522
役員報酬返納額	—	4,445
その他	1,231	1,440
営業外収益合計	12,162	15,904
営業外費用		
支払利息	4,961	5,023
支払手数料	2,163	2,163
為替差損	465	441
投資事業組合運用損	1,155	—
営業外費用合計	8,745	7,628
経常利益又は経常損失(△)	△278,400	69,857
特別損失		
減損損失	225,019	—
特別損失合計	225,019	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△503,419	69,857
法人税、住民税及び事業税	△8,753	17,965
法人税等調整額	41,075	△86
法人税等合計	32,322	17,879
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△535,742	51,978
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△535,742	51,978

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△535,742	51,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247	△1,960
その他の包括利益合計	247	△1,960
四半期包括利益	△535,494	50,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△535,494	50,017
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,272,263	2,078,533	4,350,796	4,350,796
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,272,263	2,078,533	4,350,796	4,350,796
セグメント利益	59,508	319,478	378,986	378,986

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	378,986
全社費用(注)	660,804
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△281,817

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,038,055	1,971,122	4,009,178	4,009,178
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,038,055	1,971,122	4,009,178	4,009,178
セグメント利益	291,177	309,680	600,858	600,858

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	600,858
全社費用(注)	539,277
四半期連結損益計算書の営業利益	61,581

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。